

船を漕ぐ



令和4年9月21日(水)

☆学習の秋 ～共に学び合う☆

神足小では、話し合い活動を学級づくりの1つの柱に据えています。低学年の段階から、学級活動の中で話し合いを行い、話し合うことの大切さを学びます。そして、話し合いに必要な心構えや技能を身に付けます。話し合い活動の中で互いの願いを聞き合い、その思いを大切にしようとして、「このクラスは居心地がいいな。」という安心感や、「みんなともっと色々なことに取り組んでみたい。」といった協働への意欲を育めるようにと考えています。

その上で、高学年では、教科学習の適所で、話し合いを取り入れた授業を行っています。教科における「話し合い」では、予め個人で考えたことをもとに、意見交換したり議論したりすることで、新たな考え方に気付いたり、自分の考えをより妥当なものにしたりすることを目指しています。低学年の段階から話し合いの心構えや技能を磨いてきた神足の子どもたちは、互いの考えを相互に関連付けたり、情報を精査してより良い考えを形成したりすることができるのではないかと考え、この取組を進めています。そして、何より、話し合いを通して育ててきた安心感と協働への意欲が、活発な話し合いに向けての大きな源になるのではないかと考えています。

* * * * * 学習の様子 * * * * *

個人で一度考える

⇒

他者と話し合う

⇒

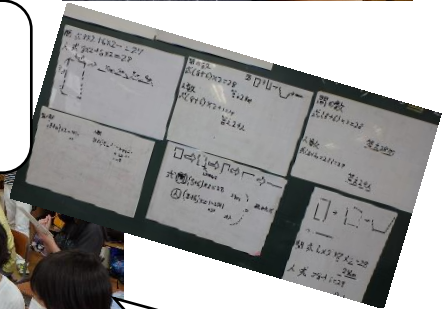
個人で再考する



【5・6年生 英語科】
より良い発表にするために、どうすれば良いか話し合いました。



【6年生 社会科】
自らの学習課題をより具体的に
にするために話し合いました。



【5年生 算数科】
より良い問題解決の仕方について話し合いました。



学年コーナー 4年生



4年生の学年目標

前進

チャレンジ
思いやり
たくましく

4年生の学年目標は『前進』を掲げました。うまくいくことも、うまくいかなかったことも全て糧にすることで、1年間心も体も成長していくことをみんなで目指しています。

1学期に行われた遊び大会は、4年生にとって初めてコーナーを企画することになります。学級会では「低学年も、私たちも楽しめるような遊びを考えよう」という

議題で話し合いを進めました。3年生までに培った、「自分たちで話し

合いを進められる」という自信の通り、計画委員会を中心に話し合いが行われました。

話し合いが終わり、子どもたちの振り返りを見てみると…

・計画委員は、もちろん難しかったと思うしフロアの人、初めて4年2組で話し合いをしたから、途中ですぐ詰まったり発表できなかつたりしたりしました。でも、みんな頑張っていて、次の計画委員にも生かして欲しいし、フロアの人、発表を1回はできるようにしたいです。

・計画委員さんたちや私たちはとまどってしまったけど、それを最後に決められたというのもやっぱりみんなが、頑張ったおかげなんだなと思いました。4年生になって成長してきているなと思いました。

話し合いでは、一生懸命に自分の意見をみんなに伝えようとしたり、無理に自分の意見を取り下げたりしていないか、互いに思いやって進めていく子どもたちの姿がありました。

無事に話し合いを終え、準備も進めた結果、子どもたちが得られたのは「自分たちでできた」という個人個人の自己有用感や、学級としてのまとまりの向上です。自治的な活動をもっともっと取り入れ、さらに高めていけるように見守っていきます。

神足小が目指す児童像（至誠・進取・敬愛）に向け、どのような取組を行っているのか、「研究だより」を通してお伝えしていきます。児童・教師・保護者の方々が“心と力を合わせて一緒に櫓を漕ぐ”ことができますように。

